

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和5年8月2日

【観測結果（調査日：7月24、26、27日）】

7月24日に渥美外海、26日と27日に伊勢湾の観測を実施しました。

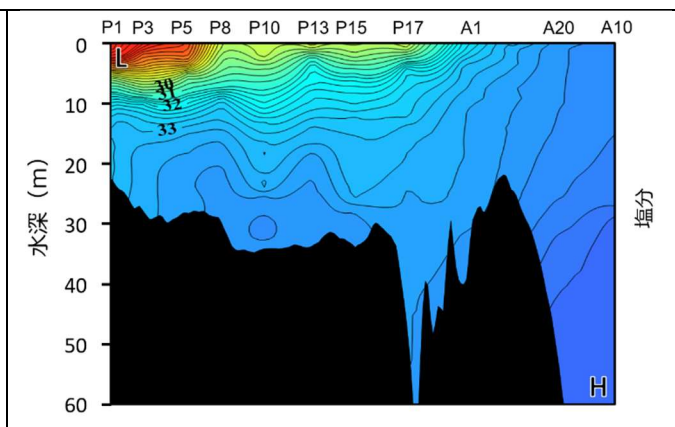
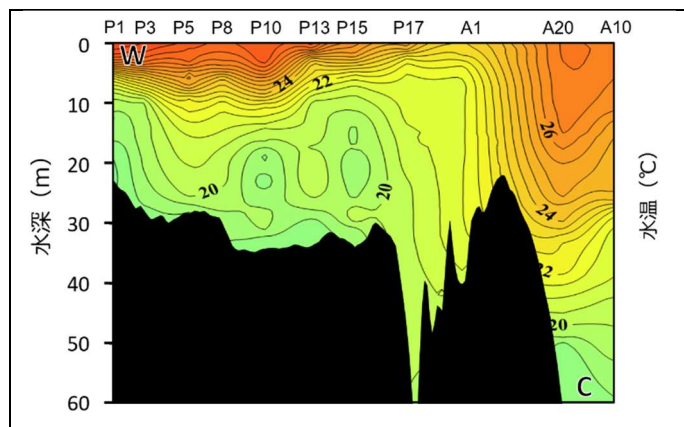
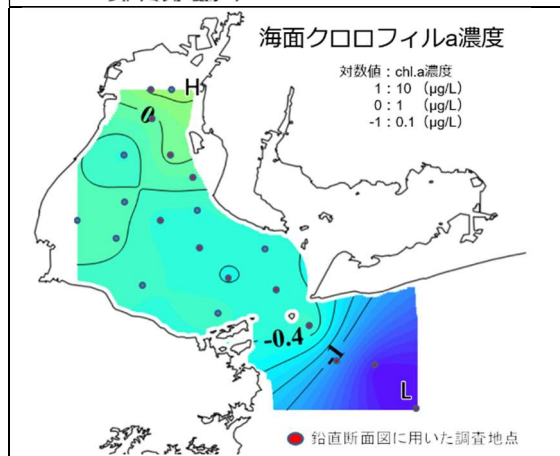
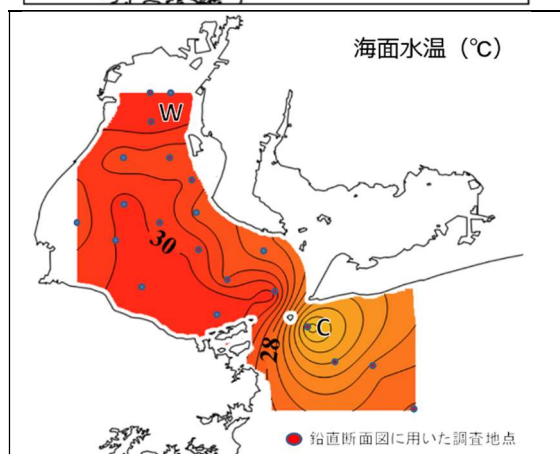
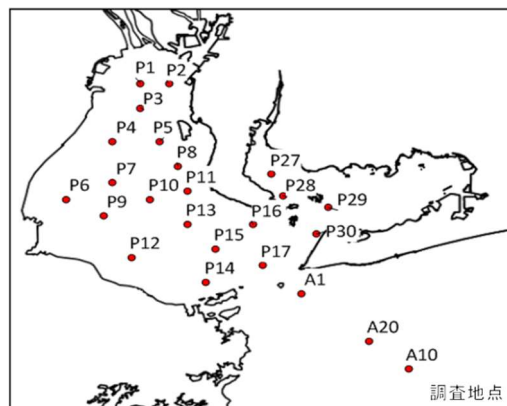
【水平分布（調査点：P1～A10）】

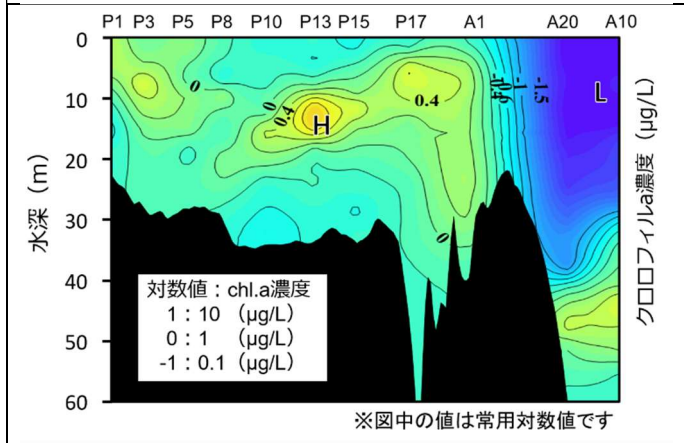
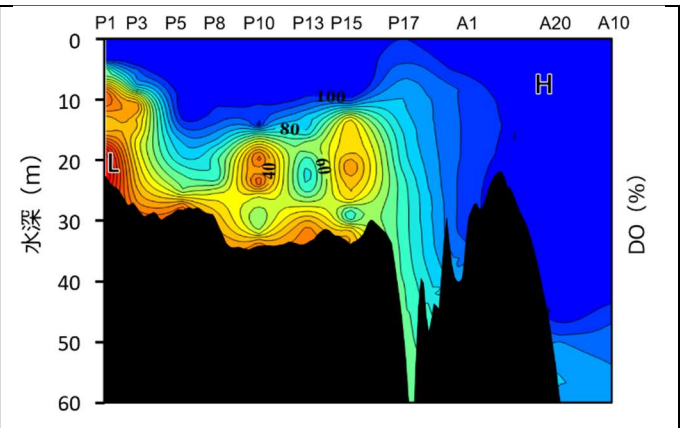
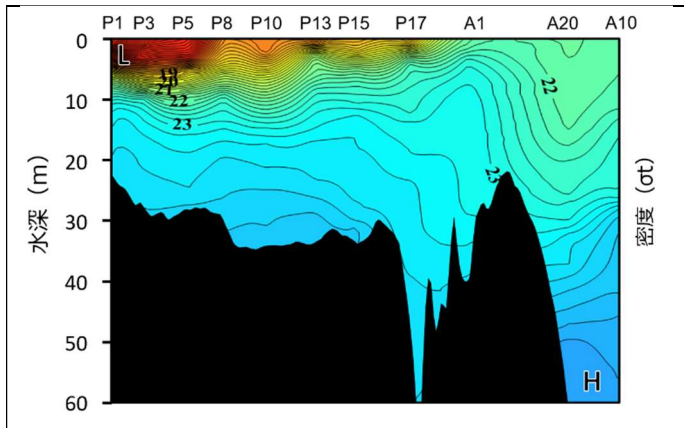
気温の上昇と日射の影響により、伊勢湾の海面は高水温に覆われています。一方で、伊勢湾湾口域は潮汐による攪乱によって、表層水温が周囲よりも低くなっています。クロロフィル a 濃度は陸域からの負荷が大きい湾奥部で最も高くなっており、黒潮系の暖水が波及している渥美外海の濃度が最も低くなっています。

【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

伊勢湾では、気温の上昇、日射、および河川水の影響で高水温・低塩分の軽い水塊が表層を覆っています。その結果、成層が発達しており、鉛直での海水交換が妨げられています。さらに、湾奥から湾央までの水深10m以深では、外海水の進入がみられず、酸素供給が極めて少ないため、貧酸素水塊（酸素濃度30%以下）が分布しています。

渥美外海では、黒潮系暖水が波及しているため、水深30m付近まで高水温傾向となっています。また、黒潮系水は栄養が乏しいため、波及の及ぶ海域のクロロフィル a 濃度は極端に低くなっています。





※図中の値は常用対数値です